



鏡の魔力…



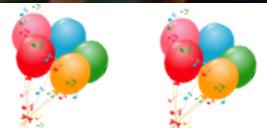
鏡面仕上げを有効に…



今日は鏡のお話です。鏡面は、建物の外壁、内装の仕上げ材、インテリアとしての鏡など、空間演出に多く使用されていますが、鏡には不思議な性質があります。

『鏡の中では、左右が逆になるのに、なぜ、上下は逆にならないのか？』と、いう…

「鏡像問題」です。ギリシャの哲学者プラトン以来、2200年以上にわたって議論されてきたのに、いまだに定説がないという現代人を悩まし続けている難問です。確かに言われば不思議な話です。鏡はただ光を反射しているだけで、鏡自体には何も仕掛けはありません。もちろん鏡自身が上下左右の判断がつくわけではありません。この鏡のパラドクスの答えを、図表や絵を一切使わずに皆さんに分かりやすく説明するのは、とても困難な作業です。数学的な説明も必要になります。



こんな鏡の不思議な性質、魔力を上手に使えば…

外観や室内空間を建物外観や室内空間を、魅力的に演出できます。具体的には、① 鏡面は内部空間の奥行きを持たせ、空間全体に華やかさと高級感を与える。② ツルツルとしてスッキリした見た目は、無駄なものが一切ない、洗練された上質を感じさせる。③ リビングやキッチン、洗面所など、光が反射することによって、空間を広く、明るく見せる。④ その他、美しさ以外にも空間にプラスαの価値をもたらす。魅力的な素材です。

参考までに、このパラドクスについての一つの“仮説”をご紹介します。

それはこの現象は『一種の錯覚』なのだ。もう少し詳しく言えば、『実は鏡が逆にしているのは、左右ではなく前後』なのだという説です。わたしはこの説を自分なりには納得しています。最後に一例をあげます。天井に貼り付けた鏡を見ると、『左右は逆にならず、上下が逆になっている』のに気がつきます。これもこの現象は『一種の錯覚』だという、仮説になります！



今後は、鏡面を上手に使って、空室対策としてお考えになってはいかがでしょうか…



川崎中央プランナー
since1990

〒210-0005 神奈川県川崎市川崎区東田町5番地3ホンマビル1階
☎044-246-5831 ✉company@kcp.gr.jp



《今月のトピックス !!》



① 家族で守る不動産～川崎区の A さんの場合～ vol.2

我が家の不動産、大切な書類から読み解く基本情報



「権利証って、これですか？」 A さんご夫婦は不動産会社に書類を持っていきましたが、「これは権利証ではなく、登記簿謄本ですね」と言われてしまいました。

「不動産は書類が多いですが、まずはポイントを押さえましょう。 ① 登記済権利証または登記識別情報通知: 所有権を証明する書類。以前は紙に印鑑が押されていましたが、2005 年頃から新様式(シールまたは袋綴じ)に変更されました。 ② 全部事項証明書(登記簿謄本): 権利証と見分けづらい。表題部(土地建物の面積)、権利部甲区(所有者情報)、権利部乙区(住宅ローン)など。下線部は変更済情報です。 ③ 固定資産税納税通知書: 毎年 4 月頃に届き、固定資産税額や評価額が記載。売れる金額とは異なります。 ④ 購入時契約書: 売却する際の税申告に必要。お子さん、お孫さんが相続後に売却する場合も必要です。コピーでも可。 ⑤ 路線価図: 相続税計算のために国税庁が毎年 7 月に発表、インターネット上で誰でも閲覧可能。売れる金額とは異なります。 ⑥ 測量図、建物設計図: 紛失すると再発行できないものもあります。 ⑦ 貸貸借契約書、更新料、修繕の書類: 売却手続きや確定申告に必要。

また、1 つに見える土地が複数に分かれており、住所とは別に登記地番が、建物は玄関 1 つに 1 つの住所ですが、登記用家屋番号は建物毎に 1 つ、というのもわかりづらいです。

書類整理は一見面倒ですが、一つずつ地道に進めることが大切です。ご家族にも手伝ってもらいましょう。

次回は「第3回建物の維持管理、大切なのはこまめな修繕」です。

② ミャンマー人留学生とのキャンプ



8 月 23~24 日、ミャンマー人留学生 20 人と奥多摩へ一泊二日のキャンプに行きました。

参加者は「令和国際日本語学院」の在校生や卒業生で、来日して半年から 5 年ほどの方々。勉強やアルバイトに追われる日々の中、久しぶりに自然の中でリフレッシュし、皆さんとても楽しんでくれました。弊社は彼らの住まい探しを支援していますが、外国籍不可の物件も多く、課題を感じています。トラブルの多くは文化的な違いから生じますが、丁寧に説明すれば理解を得られます。理解が得られないケースもありますが、それは日本人でも同様です。川崎市では 2030 年をピークに人口減少が見込まれ、空室リスクの軽減が重要になってきます。弊社は、外国籍の方にも安心して暮らせる環境を提供できるよう、引き続き努力してまいります。

